

千葉県教育研究会体育教育部会・中学校体育アンケートについて

千葉県小中学校体育連盟研究部（千葉県教育研究会体育教育部会）

1 調査目的

学習指導要領が改訂されてから1年が過ぎ、新しい指導内容や以前からの指導内容について、教師が学習を進める上で課題と感じていることがらを明確にし、それらの問題点をはっきりさせ、解決していく方法を探る。

2 研究の方法

中学校部会で「保健体育科の学習を進める上での課題点」を調査し、現状・問題点・今後の課題と方策を検討するとともに、研究紀要にまとめる。

3 今年度の計画

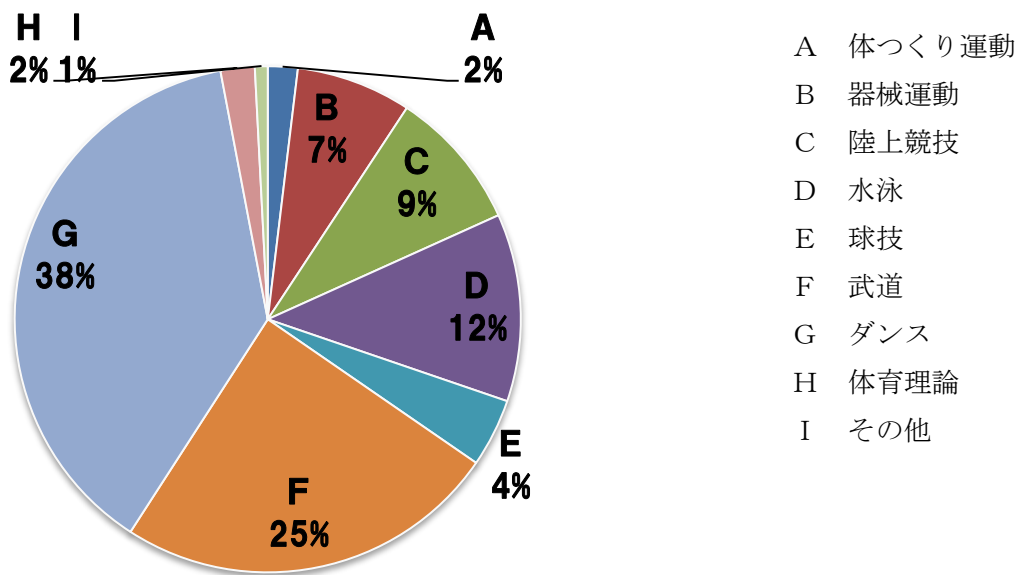
- 6月 アンケート結果を受けた研究
- 11月 研究実践報告と協議（研究紀要作成）
- 1月 研究のまとめと反省、次年度の活動について

4 調査方法 質問紙法による

5 調査対象 県内中学校体育主任（各支部抽出）

6 中学校体育アンケート結果について 以下、アンケート集計結果

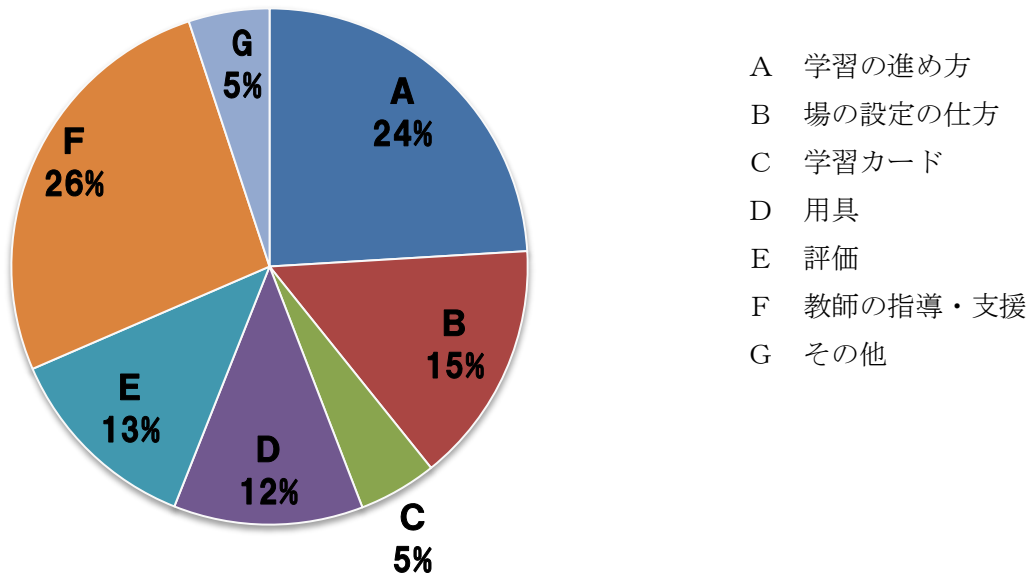
質問1 保健体育科の授業を行う上で困っている領域はありますか。1つを選んで下さい。



【分析】

アンケート結果から「G：ダンス」が全体の約4割を占め、「F：武道」についても他の領域と比べて高いパーセンテージとなった。全体として、この2つの領域について特に苦手意識を感じている先生方が多いということが分かった。

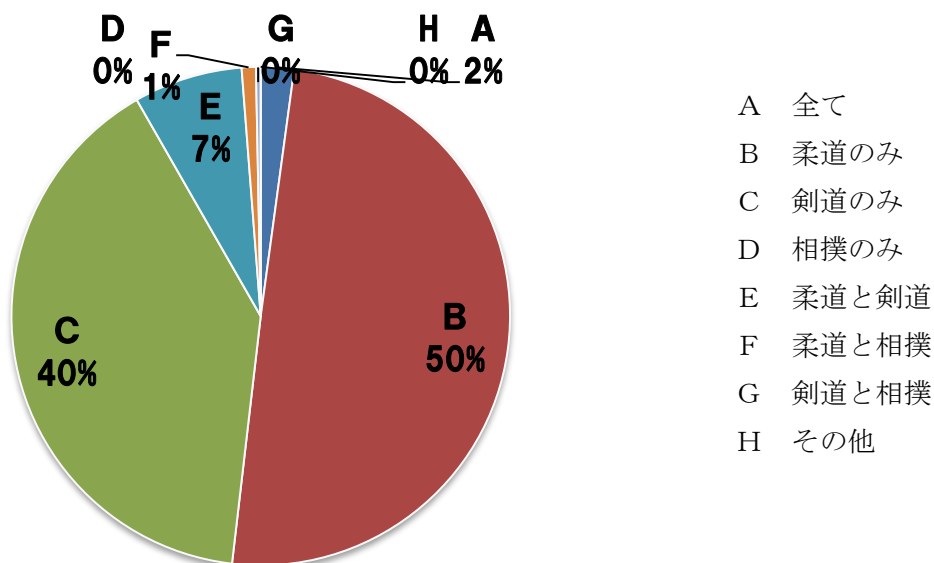
質問2 具体的に困っていることはどんなことですか。(複数回答可)



【分析】

「F：教師の指導・支援」「A：学習の進め方」の2つの項目で半数を占めた。若手教員が増加する中、教師自身の経験に大きく関係する結果と考えられる。今後、教師がどう指導し、学習を進めていくべきかについて研修を積んでいく必要がある。

質問3 「武道」についてお聞きします。 現在取り扱っている領域を教えてください。

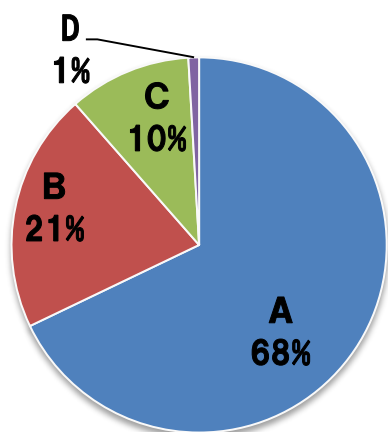


【分析】

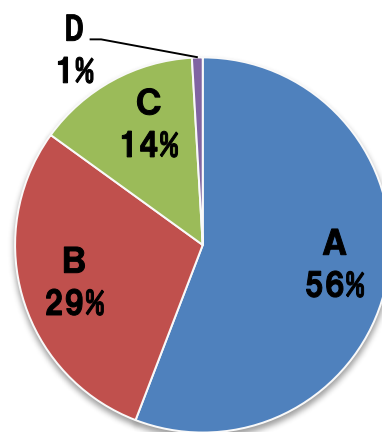
「B：柔道のみ」「C：剣道のみ」が90%を占め、複数の領域を実施している学校は10%となった。施設や用具の面で、複数の領域を取り扱う難しさがありながら、各学校が実態に合わせて取り扱いを工夫していることが分かった。

質問4 柔道（扱っている場合のみ）・ダンスについてお聞きします。

①授業の形態について、あてはまるものを選択してください。



《柔道》



《ダンス》

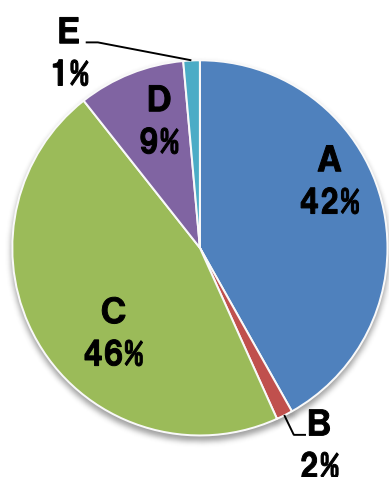
- A 男女別で授業を行っている。
- C 学年によって違いがある。

- B 男女共習で授業を行っている。
- D その他

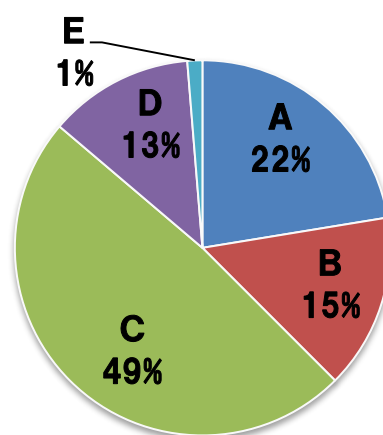
【分析】

どちらの領域も「A：男女別で授業を行っている。」という回答が多い結果になったが、ダンスより柔道の方がやや多い結果となった。「B：男女共修で授業を行っている。」「C：学年によって違いがある。」も3割から4割ある。ダンスでは、内容によって学習形態を使い分けているような学校もあった。

②指導者について、あてはまるものを選択して記号を○で囲んでください。



《柔道》



《ダンス》

A 男性のみ B 女性のみ C 男性・女性両方 D 学年担当により配分 E その他

【分析】

「C：男性・女性両方」という回答が、どちらの領域も50%ほどとなった。「A：男性のみ」については、柔道で42%に対しダンスでは22%となり「B：女性のみ」は柔道で2%、ダンスで15%とどちらも大きな違いがあることが分かった。学校の職員の構成に大きく影響を受けるが、工夫して取り組んでいる様子がうかがえる。

7 アンケート結果から

今回のアンケート調査で、千葉県の中学校の先生方が抱えている、授業を進める上で課題と感じていることが明らかになった。

まず、質問1では「武道」「ダンス」について困っていることがあるという回答が大変多かった。次に質問2からは、教師の指導・支援、学習の進め方について難しいと感じている回答が多かった。武道やダンスの単元としての設定の仕方や、授業の進め方がわかるような資料について検討していく必要がある。質問3と質問4については、各学校の状況に合わせてながら生徒にとってよりよい教育活動になるように工夫しながら取り扱っていることが分かった。

今回の結果を受けて、これまでまとめてきた資料以上に、更に先生方の役に立つ資料を検討し、まとめていく必要性を改めて感じた。特に、施設や用具、教員の構成などを含めた様々な状況への対応が必要ということが見て取れる結果となった。部会としては少しでもこういった現状に対して力となれるように、今後も研究を重ねていかなければならないと考える。

今回のアンケート調査にあたっては、県下の多数の先生方にお忙しい時間を割いていただいて実施することができた。多くの先生方にご協力いただいたことに感謝し、今後に向けて少しでも活用しやすい資料を提供するという形で還元し、千葉県内の先生方の力になっていかなければならないと考える。